

あなたの夢、ちょっと先取り

トライ & チェン

# 大阪府立布施北高等学校 デュアルシステム専門コース

~~~~ 全日制普通科高校で全国初の取り組み ~~~~

中央教育審議会初等中等教育分科会高等学校教育部会

(第5回)

平成24年2月16日(木)

於 旧文部省庁舎6階 第二講堂

大阪府立布施北高等学校

教頭 中嶋義博

中央教育審議会初等中等教育分科会高等学校教育部会（第5回）

平成24年2月16日（木）

於 旧文部省庁舎6階 第二講堂

キャリア教育・職業教育の充実 ～普通科高校におけるキャリア教育の推進～

「日本版デュアルシステム」から「体験型キャリア教育」へ

大阪府立布施北高等学校

教頭 中嶋義博

## 1 布施北高校の紹介（現状と取り組み）（P 4）

◎学校・地域の現状

◎布施北高校の特色

## 2 布施北高校デュアルシステムの紹介（P 7）

◎デュアルシステムの導入

◎教育課程とその内容

◎デュアルシステムの現状

## 3 効果と課題（P 11）

◎特色

◎成果・効果

◎課題

### 【資料】

- ・布施北高校デュアルシステム専門コースの紹介（P 2～）
- ・平成22年度の主な取り組み（P 14～）
- ・デュアル実習日誌とデュアル実習評価シート（P 17～）
- ・キャリア教育教材（P 20～）
- ・生徒の体験発表（P 23～）

## 布施北高校の「デュアルシステム専門コース」紹介

2年生・3年生で選択でき、高校に通いながら、世の中（社会）を地域の企業施設で長時間体験をします。また、週2時間学校で、ビジネスアイデア・グループング・ディベート等の教材を使い、ワークショップ、体験型の授業で、コミュニケーション能力や問題発見・問題解決能力等、社会に必要な能力を育成します。

社会の実際の姿を知り、自分の世界を広げ、自分の可能性をためす、自己を見つめなおし、自分の適性を知り、目標を持たせ、自信をつけてもらいたい。そんなチャンスのあるコースで、「生きる力」「人間力」（元気に挨拶・規律・協力・挑戦・責任感・正義・やる気・努力・連帯感など）を育成します。

### 社会での体験 「デュアル実習」

- ☆ 週に一回 一日中 一年間 企業・施設へ実習
- |             |                                       |
|-------------|---------------------------------------|
| 「販売・営業分野」   | 百貨店・スーパーマーケット・個人商店・飲食店・サービス業（ホテル・美容室） |
| 「介護福祉・看護分野」 | デイケアセンター・障害者施設・病院・個人クリニック             |
| 「保育・幼児教育分野」 | 幼稚園・保育園・小学校                           |
| 「製造・現業分野」   | 工場（金属加工・プラスチック加工・木工）・商品企画             |

### 学校での授業 2年 「デュアル基礎」 3年 「デュアル演習」

- ☆ 主な内容
- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| ・社会人としてのマナーや基礎           | ・実習に対する振り返りや目標設定     |
| ・コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力 | ・専門基礎知識              |
| ・ビジネスアイデア                | ・トラブル発生時の問題処理、問題解決能力 |
| ・グループング、ランキング            | ・モラル、ジレンマ授業、ディベートマッチ |

### 大学での体験 3年 「文書デザイン」

- ☆ 大学で、施設・設備・人材の援助を受けての授業
- ビジネス情報を創造的に表現し、説得力ある文書を作成する知識と技術を習得し、情報通信ネットワークやソフトウェアを活用して、総合的な情報発信能力を養うことを目的とする。

## さまざまな行事や講演会

デュアルならではの行事があります。協定書調印式・プレゼンテーション講習会・職場見学・デュアル実習発表会・地域のイベントへの参加・講演会・修了式などがあります。昨年度では、「東大阪ふれあいまつり」「文化のつどい」「意岐部フィエスタ」「東大阪市民環境フェスティバル」などのイベントに参加したり、地域の施設の行事のボランティアに行ったりしました。

自分の可能性を信じて、前へ！

～生徒一人ひとりが自分の輝ける場所を見つけるために～

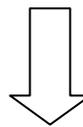
～ 社会で活躍できる人材を育成するために ～

地域と学校との 『人材育成に関するコラボレーション』

地域と連携したデュアルシステムを柱に

キャリア教育・人権教育・道徳教育の実践

一人ひとりを大切にし、  
それぞれの能力や可能性を伸ばし、  
目標・夢を与え、元気づける。



自己を見つめなおす  
自信がつく

積極的になる  
目標ができ、前向きな人生

**人間力**

**社会で生きる力**

の育成

## 1 布施北高校の紹介（現状と取り組み）

### ◎キャッチフレーズ

「自分が好き 布施北が好き」「トライ&チェンジ」「輝く自分を見つけよう」

### ◎学校のポジション

- ・創立34年目
- ・大阪府東部東大阪市中心部  
近くには「東大阪市庁舎」「大阪府立中央図書館」「クリエイション・コア・東大阪」などの公共施設
- ・課題の多い学校  
家庭基盤・親の規範意識（経済的・家庭関係の問題）  
外国人生徒におけるアイデンティティの問題

### ◎地域（東大阪地域）の状況

- ・全国一の工場集積率を誇る
- ・日本の「ものづくり」を支える一大拠点としての大きな地位を占める
- ・意岐部地域（意岐部中学校区）「夢づくり科」  
キャリア教育推進地域指定事業（平成16・17・18年度）  
研究開発学校指定（キャリア教育推進）（平成19・20・21年度）

### ◎進路状況（平成22年度）

- ・進学 30%  
四年制大学 6%  
短期大学 4%  
専門学校 20%
- ・就職希望 70%  
就職 36%（含 縁故 等）  
未定 34%（アルバイト 13% 含む）
- ・課題  
\*就職のミスマッチ・離職率の高さ  
\*社会に不適合

### ◎おもな進路、キャリアに関わる活動

- ・企業訪問見学（2年全員9月）・大学訪問見学（2年全員10月）
- ・専門学校体験訪問（2年12月）
- ・進路模擬面接（2年1月・3年6月・3年8月）
- ・進路説明会（1年12月・2年12月・3年5・7月）
- ・卒業生・社会人講話
- ・実力テスト（3年・1学期）
- ・職業適性、職業興味検査
- ・就職希望者には、進路・学年・就職コーディネータによる個別相談・懇談を通じて進路決定
- ・進学希望者には進学勉強講座、進路未決定者には進路講座

## ◎キャリア教育・学校活性化に関する事業

- 平成19年度より 文部科学省委嘱事業  
「新時代に対応した高等学校教育改革推進事業」(2年間)  
⇒ 平成19年度 大阪府教育委員会による
  - ・府立高等学校総合活性化推進事業  
「アクティブハイスクールプラン」(府下16校)  
(キャリア教育の充実と基礎学力の向上)
  - ・キャリアアドバイザー配置(府下5校)(2年間)
  - ・府立高等学校集中支援事業  
「スクールカラーサポートプラン」(府下10校)  
(デュアルシステム専門コースの充実)
- 平成21年度 大阪府教育委員会による「府立高校就職・就学支援事業」  
就職支援員配置(府下10校)
- 平成22年度 大阪府教育委員会による「府立高校就職・就学支援事業」  
就職支援員配置(府下41校) 週3回(1人) 週1回(1人)
- 平成23年度 大阪府教育委員会による「普通科高校生就職促進事業」  
就職コーディネータ配置 毎日(2人)
- 平成23年度 大阪府教育委員会による
  - ・「実践的キャリア教育、職業教育支援事業」推進校〔府立58校 私立14校〕  
「職業教育ナンバー1」をめざして、「頑張る高校」を支援し、高校生の就職  
内定率の向上、進路未定者の減少を図るため、各学校のニーズに応じた実践的  
なキャリア教育・職業教育プログラムを実践。
  - ・「がんばった学校支援事業」  
きわめて顕著支援校 500万円(12校)  
〔たいへん顕著:1500万円(1校) 顕著:250万円(28校)]  
教育活動で、全国的に顕著な成果を挙げた学校、優れた取組みを実践した学  
校を支援することで、さらに質の高い教育成果を生むことを目的。

## ◎道徳教育に関する事業

- 平成21年度・22年度 文部科学省「道徳教育実践研究事業」(2年間)  
推進地域・大阪府立高等学校 指定校(府下6校)  
⇒ 大阪府教育委員会による  
大阪府立高等学校「志学」研究開発事業(2年間)  
研究協力校(府下16校)  
(平成23年度入学生より、全大阪府立高校で「志学」の1単位時間分の  
全面实施)

## ◎本校の2つの入学者選抜

- ・前期入試(中国帰国生徒・外国人生徒)

| 平成<br>17年度 | 平成<br>18年度 | 平成<br>19年度 | 平成<br>20年度 | 平成<br>21年度 | 平成<br>22年度 | 平成<br>23年度 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 7人         | 9人         | 6人         | 4人         | 11人        | 14人        | 11人        |

- ・後期入試(普通科)

## ◎布施北高校の特色（3本柱）

### （1）きめ細かく丁寧な指導

- ・平成20年度より 1年次 30人学級編成（定員40名）  
6クラス募集8展開 7クラス募集9展開
- ・ひとりひとりの生徒を大切に！（可能性を伸ばし、輝くように！）  
教職員の熱意ある生徒指導（～ 面倒見のいい学校 ～）

### （2）多文化理解教育

- ・互いの存在を認め合う中で学校生活を！  
様々な国籍（中国・ベトナム・フィリピン・韓国・ブラジル・アフガニスタン・  
スペイン・ペルー）の生徒が学ぶ学校
- ・抽出授業・入り込み授業  
1年 21時間（体育・芸術・情報・総合以外）  
2年 8時間（現代文・国語総合・英語Ⅱ・第2外国語）  
3年 4時間（現代文・ライティング）
- ・活動  
海外スタディツアー  
中国〈04年・06年〉、韓国〈05年・07年〉  
民族舞踊の上演  
府民運動『こころの再生』 ・ 万博公園での公演  
東大阪地域春節会 ・ 人権文化発表交流会  
Wa i Wa i トーク（母国語弁論大会）に参加  
府立外教の行事「高校生交流会」等に参加  
One World ・ はんだまん  
高校生人権作文コンクール  
日本語検定試験 中国語検定試験

### （3）普通科高校で、全国初のデュアルシステム

## ◎特色あるカリキュラム・授業内容

### ○少人数・複数担任授業

英語Ⅰ・数学Ⅰ・芸術Ⅰ・Ⅱ は 2クラス3展開  
数学Ⅰ は 習熟度別クラス編成  
情報・総合的な学習の時間 は2人担当（チームティーティング）

### ○「基礎学」（1年生・1単位）⇒基礎学力養成授業

5教科（英語・数学・国語・社会・理科）を自分個人のペースで学習  
自学自習の習慣づけ段階別（4級～特級）プリント学習  
やる気と充実感 そして できる喜び  
3人の教科担当

### ○2年生より、デュアルシステム専門コースと普通コースの選択

デュアルシステム専門コースは、「2・3年継続選択」・「2年のみ選択」・  
「3年のみ選択」可

## 2 布施北高校デュアルシステムの紹介

### ◎デュアルシステムの導入

#### ○現代生徒の特徴

- ・社会性の低さ（コミュニケーションが苦手・社会との接触拒否や恐怖）  
自分の限定されたエリアでの情報や人間関係で行動  
大人社会に対する不信感・無視  
→ 職業について考えたり選択したりする能力の育成
- ・自信・意欲のなさ（自己評価が低い）  
自己肯定できない（「どうせ私はできない」という諦め）  
→ 自分の存在意識・価値の気づき
- ・学力（基礎学力「読み・書き・計算」）の低さ  
小・中学校段階でのつまづき  
→ 「基礎学力の底上げ」と「わかる面白い授業」

#### ○ねらい

- ・「高校での優等生」（出席状況良好・問題行動なし・平常点で成績良好）が「社会で立派に生きる力」（マナー・コミュニケーション・自主性・責任感・臨機応変な対応力）を持っているとは限らない。
- ・学校以外の場所で職業体験することで、「やるべきことを考え、学ぶべきことを見つける」
- ・学校と家庭だけでなく、地域力（企業や施設の教育力）により生徒を教育。
- ・「働く」  
総合的な営みで、多様な力が必要。  
社会で生きるための自尊感情を取り戻す営み。

あなたは

どんな準備をして社会へ出ますか？

不安はありませんか？

自分は

どんな仕事に向いているのだろうか？

みんなとうまくやっていけるのだろうか？

だったら

いろんな仕事を体験してみよう！

実際に試してみよう！

「人間力」を育てる

遅刻しない ・ 元気に挨拶 ・ よく聞く ・ しっかり話す ・

協力 ・ 挑戦 ・ 責任感 ・ 我慢 ・ 正義 ・ 規律 ・

認め合い ・ やる気 ・ 努力 ・ 連帯感

### ◎沿革

- ・平成16・17・18年度  
文部科学省「専門学校等における日本版デュアルシステム」研究指定  
全国20地域（25校）のうち普通科高校で全国唯一
- ・平成18年度より  
大阪府教育委員会 「デュアルシステム専門コース」設置

◎教育課程

○全日制普通科に「デュアル専門コース」を設置し以下の科目を設定している。

|     |        |       |         |       |
|-----|--------|-------|---------|-------|
| 2年次 | デュアル基礎 | (2単位) | デュアル実習Ⅰ | (6単位) |
| 3年次 | デュアル演習 | (2単位) | デュアル実習Ⅱ | (6単位) |
|     | 文書デザイン | (2単位) |         |       |

|             |  | デュアルシステム専門コース |     | 普通コース   |     |
|-------------|--|---------------|-----|---------|-----|
|             |  | 科目            | 単位数 | 科目      | 単位数 |
| 2<br>年<br>生 |  | デュアル実習Ⅰ       | 6   | 情報演習Ⅰ   | 2   |
|             |  | デュアル基礎        | 2   | 芸術Ⅱ     | 2   |
|             |  |               |     | 政治経済    | 2   |
|             |  |               |     | 数学A     | 2   |
| 3<br>年<br>生 |  | デュアル実習Ⅱ       | 6   | 自由選択科目あ | 2   |
|             |  | デュアル演習        | 2   | 自由選択科目い | 2   |
|             |  | 文書デザイン        | 2   | 自由選択科目う | 2   |
|             |  | 数学Ⅱ           | 2   | 数学Ⅱ     | 3   |
|             |  |               |     | 地学Ⅰ     | 3   |

○内容

★「デュアル実習Ⅰ・Ⅱ」

- ・単なる職場体験でなく、授業（科目）の一つ ⇒ 単位認定・評価が伴う。
- ・1年間を通して週のうちまる1日、企業・施設で実習を行う。
- ・1企業施設に、生徒1人を原則。
- ・実習先は、2年生は実習先を変更、3年生は通年。  
(幅広い体験とミスマッチへの対応)
- ・4つの分野  
「製造・現業分野」 「販売・営業分野」 「介護福祉・看護分野」  
「保育・幼児教育分野」
- ・前後期の2期制で、年間約25回の実習と数回の校内研修と講習会
- ・毎回、学校担当者が実習先に訪問  
実習の様子視察  
実習の姿勢や意欲・態度の評価  
実習先担当者との連絡・調整・相談  
実習内容・実習評価の検討
- ・毎回、デュアル実習ノートの記入、点検によるコミュニケーション  
生徒 ⇒ 実習先担当者 ⇒ 学校担当者 ⇒ 生徒

★「デュアル基礎」「デュアル演習」

- ・形態  
実習担当教員を含め、複数教科担当の入込み  
参加型・グループワーク・発表型

・内容

実習の振り返り、課題解決と課題設定、体験の共有  
実習に関する専門基礎知識  
社会人としてのマナー  
自己表現の方法（コミュニケーションとプレゼンテーション）  
実習に対する基礎知識  
ビジネスアイデア  
トラブル発生時の問題処理・問題解決能力  
モラル・ジレンマ授業、ディベートマッチ  
グルーピング、ランキング

★「文書デザイン」（平成20年度より）

・形態

高等学校商業科の科目「文書デザイン」を大学で授業。  
高等学校の正規科目を、大学の人材（教員）と施設・設備の支援を受けて展開。  
⇒ 芸術・デザイン・情報・商業などさまざまな分野の大学教員の参加により、情報スキルだけでなく幅広い視点からのものにとらえかたやコミュニケーション力を学ぶという布施北デュアル型高大連携を実施。

・内容

SNSの利用説明と実際の利用  
写真編集  
ピクトグラムの作成(人物の動きを表現)  
ポストカードやポスターの作成(ペイントソフトを利用)  
プレゼンテーション資料の作成(グループワークも含む)  
自己紹介ホームページの作成

◎デュアル生の参加行事・特別講習

- ・協定書調印式（4月）
- ・実習先企業・施設見学（6月）
- ・デュアル生の体験発表
  - 中学生体験入学・見学会（7月・11月）
  - 1年生コース選択説明会（9月）
- ・地元中学校との交流授業
- ・1年生との交流授業（グループワーク）
- ・地域のイベント・祭りに参加・展示
- ・デュアル連携企業施設のイベントに、ボランティア参加
- ・デュアルシステム専門コース発表会（11月）
- ・修了式（3年生：1月　2年生：2月）
- ・講習（校内研修）
  - 社会人や実習先担当者による講話
  - プレゼンテーション講習会
  - 服育講習会

## ◎選択生徒数

### ・生徒数の推移

| 年度  | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 合計  | 17 | 27 | 57 | 52 | 52 | 92 | 93 |
| 2年生 | 6  | 14 | 37 | 34 | 25 | 74 | 27 |
| 3年生 | 11 | 13 | 20 | 18 | 27 | 18 | 66 |

### ・分野別生徒数

| 年度         | 学年 | 生徒数<br>合計 | 内訳         |            |          |          | 連携<br>企業数<br>(実数) |
|------------|----|-----------|------------|------------|----------|----------|-------------------|
|            |    |           | 保育<br>幼児教育 | 介護福祉<br>看護 | 営業<br>販売 | 製造<br>現業 |                   |
| 平成<br>17年度 | 通年 | 18        | 3          | 6          | 4        | 5        | 17                |
| 平成<br>18年度 | 通年 | 27        | 10         | 5          | 4        | 8        | 25                |
| 平成<br>19年度 | 前期 | 57        | 35         | 7          | 6        | 9        | 66                |
|            | 後期 | 55        | 25         | 7          | 11       | 12       |                   |
| 平成<br>20年度 | 前期 | 52        | 22         | 8          | 11       | 11       | 53                |
|            | 後期 | 51        | 20         | 6          | 12       | 13       |                   |
| 平成<br>21年度 | 前期 | 52        | 21         | 5          | 13       | 13       | 52                |
|            | 後期 | 51        | 19         | 5          | 11       | 16       |                   |
| 平成<br>22年度 | 前期 | 92        | 36         | 11         | 25       | 20       | 99                |
|            | 後期 | 90        | 29         | 9          | 30       | 22       |                   |
| 平成<br>23年度 | 前期 | 93        | 29         | 6          | 36       | 22       | 82                |
|            | 後期 | 93        | 29         | 6          | 36       | 22       |                   |

## ◎校内体制

### ○デュアルプロジェクトチーム

- 〔特色〕 平成18年度から5年間、主担（チーフ）は首席（主幹教諭）
- 〔メンバー〕 管理職・進路部長・教務部長・首席・主担（チーフ）・各学年代表・デュアル科目担当代表
- 〔内容〕 授業（実習含む）の在り方や評価  
カリキュラム  
地域連携・広報  
実習先開拓

#### ○デュアル科目担当者会議

- [内容] 授業内容・情報交換・成績  
実習の体制づくり  
デュアルPTとの連携  
デュアル関係行事の企画運営

#### ○教科担当

- ・デュアル実習（6単位）  
生徒（訪問実習先）6～8人（箇所）につき教員1（授業4時間分）
- ・デュアル基礎・デュアル演習（2単位）  
グループワークのため1講座15～25人の少人数制  
1講座2～3名の担当教員
- ・文書デザイン（2単位）  
大学側 教員3～4人（情報・商業・芸術）  
本校 1クラス2人

### 3 効果と課題

#### ◎通年型の特色

- ・スキルアップには不十分だが、実習1回ごとに、振り返りができ、次の実習までに問題解決や指導が可能。
- ・学校における座学（デュアル基礎・デュアル演習）が、身近に実習先で活かされる機会がある（マナーやコミュニケーションや基礎知識）。
- ・生徒の成長、学びを長期的、段階的に発揮できる。
- ・自分自身の成長とともに、従業員や利用者の成長・変化により、人間模様を知ることができる
- ・企業施設の1年間のサイクル（季節観）がわかる。
- ・実習以外の行事、イベントにも参加できる機会がある。

#### ◎成果

##### ○生徒の感想より

- ・中学校での職業体験より仕事も多く、責任も大きかった。働くことの大変さをあらためて知った。
- ・礼儀やマナー、コミュニケーションの大切さを学んだ。

##### ○担任から見た生徒の変化

- ・保育園での実習では「楽しいことばかりだと思っていた」が、現実の厳しさを知るいい機会になったようだ。
- ・明るい性格であるが、実習先でうまく人間関係が作れず休みがちになってしまった。実習後、「いい経験だった」と振り返り、コミュニケーションの大切さに気づいてプラスになったようだ。
- ・実習中の負傷を通じて「慎重」が身についたようだ。また、負傷したにもかかわらず、更に高度な作業を任せられ、生徒の成長を感じた。
- ・実習後は、学校生活のあらゆる面で積極的に取り組めるようになり、多かった欠席も3年次には皆勤で登校できるようになった。

## ◎効果

### ○社会人基礎力の向上

- ・目的意識をもって、自らの進路を選択。
- ・挨拶、会話ができるようになった。
- ・人と接する事がたのしいと感じるようになった。  
⇒ 離職率の低下  
即戦力の育成

### ○生活の充実

- ・学ぶ大切さを認識。
- ・自己を見つめなおす。
- ・ダラダラした生活の反省  
⇒ 元気づける。前向きな人生  
目標、自信を持つ。  
積極的になる。  
勇気と希望を与える

### ○地域連携・地域活性化

- ・職場にも、刺激があり活気が生まれた。
- ・職場にも、若者を教育する、評価する機会ができた。
- ・地元社会で生きる一員として、地元の高校を応援したいという機運が企業施設に生まれている。
- ・高校生の見方が変わり、高卒者の採用に変化が見られた。
- ・設備投資と若手人材育成が、これからの時代の中小企業の生き残りの道と考えるようになった。  
⇒ 生徒を育てるという目標で繋がった『学びのネットワーク』  
地域と学校との『人材育成に関するコラボレーション』  
学校が、地域（企業施設）とともに、若者育成について議論の場

### ○学校の活性化

- ・デュアルシステムからキャリア教育（全国一のキャリア教育推進校へ）
- ・実習の在り方だけでなく、すべての教科科目や総合的な学習の時間、特別活動の中でのキャリア教育
- ・デュアルで蓄積した財産を、デュアル選択者だけでなく、全員の生徒へ。
- ・“閉鎖的で働く現場から遠い”という状況から、地域の教育力を最大限に活用した“開放的な学校経営”

## ◎課題

- ・ミスマッチを起こす生徒のフォロー
- ・実習先間の横の連携
- ・外国人生徒、障がいのある生徒等に対する実習先の開拓
- ・専門学校との連携
- ・キャリア教育の授業担当者の育成
- ・普通科高校におけるカリキュラムの制限（学校設定科目の上限）
- ・教員、予算の確保
- ・情報の共有と、キャリア教育推進校との交流
- ・攻めのキャリア教育の展開
- ・キャリア教育拠点校（仮称）の設置

### ◎名誉ある表彰

- ・平成19年度  
大阪府教育委員会優秀教職員等表彰（キャリア教育の実践と貢献）
- ・平成22年度  
文部科学大臣表彰（キャリア教育優良）

### ◎文部科学省も注目

- ・平成23年 7月13日（水）  
文部科学省 初等中等教育局  
局長 山中 伸一 氏  
教育制度改革室長 小谷 和浩 氏  
高等教育改革係長 相原 恵子 氏  
本校・デュアル実習先 視察訪問
- ・平成23年 9月9日（金） 10月13日（木）  
「キャリア教育における外部人材活用等に関する調査研究協力者会議」  
（実践経験者ヒヤリング／学校の取組事例についてのヒヤリング）に出席
- ・2011年11月号 「文部科学時報」で紹介  
「進む！高校教育改革」デュアルシステムから新しい体験型キャリア教育へ

布施北高校は

「デュアルシステムという特色ある学校」 から

「全国一のキャリア教育の推進校（先進校）（モデル校）」 へと

として前進発展していきます

## 平成22年度の主な取り組み

### 【デュアルに関する行事】

- ・2010年4月20日(火) デュアルシステム専門コース協定書調印式  
実習先・生徒・保護者・学校とて協定書の調印
- ・2010年11月12日(金) 本校 北辰祭(第2日目)  
デュアルシステム専門コースの内容や実習先のアピールの場として、展示販売参加
- ・2010年11月26日(金) デュアルシステム専門コース発表会  
大阪府立中央図書館 ライティホール  
内容 第1部 生徒のパフォーマンスまじえた発表  
デュアルに関する一言  
第2部 リレー講演  
フィナーレ(参加者による布施北デュアルに送る一言)  
展 示 取り組みのパネル展示(フロアー)
- ・2011年1月19日(水) 3学年 修了式(各実習先)
- ・2011年2月21日(月) 2学年 修了式(本校・会議室)

### 【講演会や研修会】

- ・2010年4月26日(金) 2年生服育セミナー  
講師:(株)チクマ キャンパス事業部 コーディネーター 千秋 恵 氏
- ・2010年5月13日(木) 2年生事前研修(講演会)  
講師:阪口 忠士氏 (東亜装飾株式会社 代表取締役)  
杉森 隆志氏 (浄土宗玄清寺住職 社会福祉法人玄清会理事長)  
テーマ  
「デュアル実習を行うにあたり ～社会人としての心構え～」
- ・2010年10月28日(木)(2年生)  
10月20日(水)・11月24日(水)(3年生)  
11月24日(水)(2・3年生合同)  
プレゼンテーション講習会  
デュアルシステム発表会に向けて、外部講師(寺田夢酔氏)によるプレゼンテーション技法等を習得
- ・2011年3月2日(水) 来年度デュアル選択者講演会  
講師:高齢者支援施設 YMC Aサンホーム  
介護福祉士 川原 和晃(本校 26期生 デュアル1期生)

### 【地域のイベントに積極的に参加・協力】

- ・5月8日(土)・9日(日) 東大阪市民ふれあいまつり
- ・6月13日(日) 文化のつどい(府立図書館ライティホール)
- ・7月11日(日) はすの広場七夕まつり(近江堂リージョンセンター)
- ・7月31日(土) 打ち水大作戦(国道308号沿線・東大阪市役所)
- ・8月22日(日) 高齢者支援施設YMC Aサンホーム 夏祭り
- ・8月29日(日) 老人ホーム アーバンケア御厨 夏祭り
- ・8月29日(日) 障がい者活動センター若草園・若草工房 納涼大会

- ・10月3日(日) 特別養護老人ホーム アーバンケア島之内 秋祭り
- ・10月23日(土) 「ディサービスセンター ハートフル」 運動会
- ・10月31日(日) 東大阪大学 学園祭
- ・11月13日(土) 東大阪市民環境フェスティバル
- ・11月13日(土) 意岐部フィエスタ

## 【アドプト・ロード・プログラム：「命の輝き共生の森」(2010年度)活動】

大阪府の事業でもある「みんなで創ろう都市のみどり 中環の森づくり」の一部として、「命の輝き共生の森推進会」(学校裏、中央環状線、近畿道高架下で、瓜生堂交差点付近～意岐部交差点付近(800m)にあたる部分)として、地域の人たちとともに、美化フェンス整備、苗木作り、ビオトープ池作り、花壇作り、清掃や緑化活動等の取り組みに参加します。

- ・5月16日(日) クリーンキャンペーン
- ・6月26日(土)
- ・7月24日(土)
- ・8月28日(土)
- ・9月26日(日) プレート除幕式
- ・11月28日(日) 植樹祭
- ・1月22日(土) クリーンキャンペーン
- ・2月19日(土)
- ・3月12日(土) 第2回植樹祭

## 【地元の幼・小・中との連携】

- ・2010年5月25日(火) 意岐部東小学校3年生の校区探検受け入れ  
意岐部東小学校3年生全員が、校区探検の取り組みで、本校を訪問。  
本校の授業や施設を見学したり、校長やデュアル生へのインタビューをしました。
- ・2010年7月8日(火) 意岐部中学校3年生高校訪問・体験授業  
意岐部中学3年生全員を対象に、体験入学を実施しています。  
全体の説明会で、デュアルを選択している意岐部中学校出身の2年生2人・3年生1人が、デュアル実習の様子や高校生活で学んだものを発表し、アピールしました。
- ・2010年9月10日(金)・11月19日(金)  
荒本子育て支援センター「次世代育成支援事業」  
本校において、高校生と、子育て支援センター募集の乳幼児との交流
- ・2010年11月13日(土) おきベフィエスタ  
(意岐部中学校区地元4校園の合同イベント)  
デュアル生徒全員参加で、夢づくり科体験講座の補助や、子育て支援センターのプレイルームで乳幼児の世話や、地域の人や小・中の児童たちとともに模擬店の手伝い
- ・2011年2月17日(木) 意岐部中学校交流授業  
(東大阪市 オンリーワンスクール推進事業)  
デュアル生徒が、意岐部中学生1年生とのアイスブレイキングの進行運営役になったり、デュアルや高校で学んだことを、グループワークで伝え、希望や夢を与えました。

## 【地元大学との連携】

- ・商業科関係の授業「文書デザイン」（3年生 2単位）を東大阪大学の施設・設備と人材の支援を受けて展開（高等学校の正規科目を大学教員による授業で実施）
- ・大学主催のビジネスアイデコンテストに応募
  - 2年生 帝塚山大学 53部
  - 3年生 大阪商業大学 8部
- ・東大阪大学の学園祭で、デュアル生徒による本校のデュアルの取り組みの展示紹介と出展企業のお手伝い（2010年10月31日（日））

## 【産学連携】

- ・平成21年度、東大阪大学での授業「文書デザイン」において、東大阪ブランド推進機構・東大阪市民環境フェスティバルのポスターを制作。
- ・平成22年度、東大阪大学での授業「文書デザイン」において、小阪ジャストリートのポスターを制作。

## 【マスコミ等で記事掲載】

- ・2010年10月18日（月） 日本教育新聞  
全府立高校で「志学」 職場実習の問題事例を話し合う
- ・2010年12月3日（金） NHK大阪放送局 生中継  
「あほやねん！すきやねん！金曜日」  
『生中継・サオリン隊長が行く！キラリン星みーつけ☆』
- ・2010年12月21日（火）号 週刊教育PRO  
「デュアルシステム」発表会を開催  
「1年間頑張る気持、で夢を見つけよう」
- ・2010年12月23日（木）・24日（金）・25日（土） 東奥日報  
シリーズ 雇用  
「どうする高校生就職 第1部・県外の取り組み 大阪府立布施北高等学校」
  - ①普通高でデュアル 企業実習が毎週1日
  - ②「しんどい学校」 落ちこぼれ校が変化
  - ③将来への意識付け 社会に挑む経験積む
- ・2011年3月号 文部科学時報  
「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」  
(中央教育審議会 答申)  
普通科高校でのデュアルの取組 大阪府立布施北高等学校
- ・2011年3月23日（水）・24日（木） 大阪日日新聞  
シリーズ 仕事を知る キャリア教育の実践
  - ① 週1回の職場体験 社会で生きる力育む
  - ② 自己理解進む生徒 「感動もらおう」企業協力的

## デュアル実習日誌

|                 |      |      |                   |         |    |
|-----------------|------|------|-------------------|---------|----|
| <b>デュアル実習日誌</b> |      | 出席状況 | 出席 ・ 遅刻 ・ 早退 ・ 欠席 |         |    |
|                 |      | 実習日  | 月 日( )            |         | 天候 |
|                 |      | 記入日  | 月 日( )            |         |    |
| 出勤時間            | :    | 退勤時間 | :                 | 訪問本校教員名 |    |
| 時間              | 実習内容 |      | 指示されたこと・気づいたこと    |         |    |
| 8:00            |      |      |                   |         |    |
| 9:00            |      |      |                   |         |    |
| 10:00           |      |      |                   |         |    |
| 11:00           |      |      |                   |         |    |
| 12:00           |      |      |                   |         |    |
| 13:00           |      |      |                   |         |    |
| 14:00           |      |      |                   |         |    |
| 15:00           |      |      |                   |         |    |
| 16:00           |      |      |                   |         |    |
| 17:00           |      |      |                   |         |    |

### 自己評価

A:よくできた B:大体できた C:普通 D:できなかった

| 評価項目                         | A | B | C | D |
|------------------------------|---|---|---|---|
| ・出勤や勤務について時間をきちんと守れたか        |   |   |   |   |
| ・元気よく挨拶ができたか                 |   |   |   |   |
| ・きちんとした言葉遣いができたか             |   |   |   |   |
| ・指示や質問に、はっきりと対応できたか          |   |   |   |   |
| ・身だしなみはきちんとできたか              |   |   |   |   |
| ・職場の人達と、コミュニケーションがとれたか       |   |   |   |   |
| ・積極的に仕事に取り組めたか               |   |   |   |   |
| ・指示・連絡されたことを、十分に理解し確実にやりとげたか |   |   |   |   |
| ・勤務中は、私語をせず、仕事に集中できたか        |   |   |   |   |
| ・用具や道具・機械を丁寧に扱うことができたか       |   |   |   |   |
| ・整理、整頓、清掃がきちんとできたか           |   |   |   |   |

## 実習状況

|                       |
|-----------------------|
| 1. うまくできたこと(理解できたこと)  |
|                       |
| 2. 失敗したこと(理解できなかったこと) |
|                       |
| 3. その他、感想、疑問、反省など     |
|                       |

## 実習所担当者所見

※ 実習の様子について、また上記記入内容をご覧の上、簡単に構いませんのでアドバイスなどをご記入いただければ幸いです。よろしくお願いします。

|  |    |
|--|----|
|  | 検印 |
|--|----|

## 学校担当者所見

|  |    |
|--|----|
|  | 検印 |
|--|----|

## デュアル実習評価シート

- それぞれ、
- S 際立って優れている
  - A 優れている
  - B 普通である
  - C 不十分である
  - F まったく不十分で改善の意欲も感じられない

の5段階で評価していただきます。

ただし、各実習先・実習内容によって、評価しかねる項目については、未評価でかまいません。

| 評価単元             | 評価項目                             | 評価 |
|------------------|----------------------------------|----|
| <b>態 度</b>       | 時間を守れていたか                        |    |
|                  | 勤務中に、定められた服装等をきちんと出来たか           |    |
|                  | 作業中に私語を慎むことが出来たか                 |    |
|                  | 「おはようございます」など明るく挨拶が出来たか          |    |
|                  | 「ありがとうございました」等感謝の言葉を素直に言えたか      |    |
| <b>意 欲</b>       | 期間を通じて積極的に取り組めたか                 |    |
|                  | 仕事の内容を進んで知ろうとしていたか               |    |
|                  | 新しい作業へのチャレンジ精神があったか              |    |
|                  | 仕事をすることを楽しんでいたか                  |    |
|                  | 少しでも能率よくやろうと工夫していたか              |    |
| <b>仕事上のスキル</b>   | 仕事を丁寧・安全に出来たか                    |    |
|                  | わからないところを質問できたか                  |    |
|                  | 指示・連絡事項を十分に理解して作業に向かったか          |    |
|                  | 整理・整頓・清掃は十分出来たか                  |    |
|                  | 仕事に必要な読み・書き・計算の基礎力はあったか          |    |
| <b>コミュニケーション</b> | 職場の人やお客様等に対して適切な言葉遣いできたか         |    |
|                  | 失敗したときに素直に謝れたか                   |    |
|                  | 職場での他者(客、園児、高齢者等)との交流に進んで参加していたか |    |
|                  | 自分の意見や気持ちを伝えようとしていたか             |    |
|                  | 職場の方との十分なコミュニケーションを取れたか          |    |
| <b>コメント</b>      |                                  |    |
|                  |                                  |    |

## キャリア教育教材（例）

### ◎ビジネスアイデア

#### ★売れる「〇〇まん」作り

あなたは肉まん・あんまんて有名な△△屋の社員です。  
商品の企画（新しい商品を考える）を担当しています。  
もうすぐこの冬の新商品の企画会議があります。

さあ、売れる「〇〇まん」を考えましょう！  
味だけでなく、形や色々な部分にこだわって！

①コンビニで売る「〇〇まん」の条件は何？

ヒント ・個数 ・大きさ ・温度 ・価格 ・運搬保管方法 ・日持ち

②あなたのアイデアを出そう！

みんなが食べたくなるようなアイデアいっぱいの商品を考えてね！

今までの商品とどこが違うかな？ 味？形？値段？おまけ付きだったりして！

#### ★新商品をセールスしよう！（広告編）

あなたは、今から「ノート」の新商品を開発して宣伝する広告（ビラ・チラシ）を作成します。

どんな特徴・内容・機能のものであるか、あなたが自由に開発、発想をしてかまいません。そして、広告を見た人が、興味持つように、また購入しようという気持ちになるような宣伝をしてください。

絵・イラスト・言葉を交えて広告（ビラ・チラシ）を作成してください。

### ◎グループピング・ランキング

#### ★無人島の生活に必要なもの

あなたは、無人島で一人、1ヶ月間、生活することになりました。周りは海に囲まれています。勿論、ボートや舟もありません。また、携帯電話の電波もつながりません。

出発するに当たって、荷物を準備しなければなりません。持っていくものの予算や大きさには制約はありません。

ただし、持っていくものの中に、ボートと舟、そしていろいろな物がはいているセットものはだめです。また、泳いで別の島や陸に行くことも違反です。

①さてあなたは、何を優先的に持っていきますか？3～5個あげなさい。

（最低3個以上：理由も述べましょう）

②各自の考えを、理由を述べながら紹介し、班で意見交換しましょう。

そして班で意見を出し合いながら、グループピングして（同じものはひとつにまとめ）、優先的に6個だけ決めましょう。これら6個について、優先順位を決めて、ピラミッドの形に並べて下さい。

### ◎問題解決（ケーススタディ）

#### ★こんな時あなたはどうしますか

あなたは、山下（株）に勤務して3年目。

ある日出勤すると、その日に開催される当社（山下（株））主催の会議の資料で、あなたが準備しなければならない書類を、家に忘れてきたことに気づきました。

会社としては禁止されていることですが、昨日やむなく、会社の書類を持ち帰り、家

で仕事をしたからです。

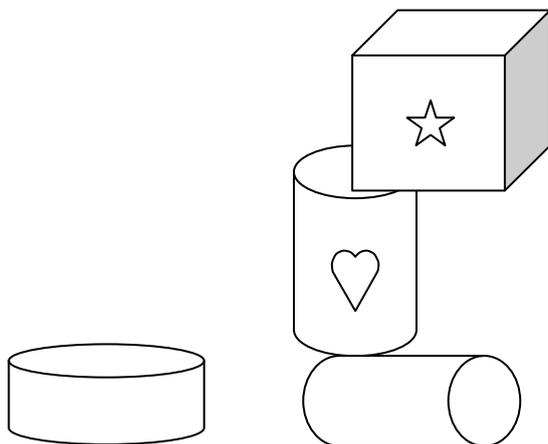
会議はかなり会社の上司や取引先代表者など50人ぐらい参加する会議です。そして、遠方の方なら、昨夜ホテルに宿泊しておられる方も10名ほどいて、簡単には中止や延期にすることはできません。

会議は9:00開始で、発表説明者はあなたを含めて2人。それぞれ45分ずつ担当で終了予定は10:30です。時間を見ると8:30。家と会社は往復2時間程度かかり、家に取りに帰ると、10:30ごろしか会社に戻ってこれません。(勿論、自宅には、だれもいません。) さてあなたは、どのように対応、処理していきますか？

## ◎相手にわかりやすく伝えよう・人の話をきっちり聞こう

### ★図形編

- ・説明者2名程度決め、他の生徒に見えないように、下の絵の説明文を考える。
- ・説明者はジェスチャーなしで、言葉の表現だけで説明する。  
他の生徒は、説明を聞いて、どんな絵かを想像して記入する。
- ・本当の絵を見て、「3」にあなたならどのような説明をするか記入する。



## ◎ディベートマッチ

### ★あなたはどっち派

あなたは、ある日、友人と遊びに行きました。途中トイレをするために、友人に財布を預けました。トイレがすんですぐに財布を返してもらったらよかったのですが、話が弾み、私も友人も財布のことをすっかり忘れていました。

15分ほどたって、財布のことを思い出し、友人から返してもらおうとしたところ、友人が預けた財布を落としたのか、ないことに気づきました。当然捜しても見当たりません。

財布の中には、5万円ほど入っていました。さてあなたは、お金について、どのようにしますか。

- A) 友人が落としたので、全額とも、友人に弁償してもらおう。
- B) 預けて返してもらったのも忘れていたのだから、わたしがあきらめる。
- C) お互いの責任だから、半額(いくらか)友人に弁償してもらおう。

★決められた立場にたって議論しよう

あなたの住んでいる地元の「北布施」駅付近は、昔からの住宅地です。

ところが、3年前に「北布施」駅から、バスで10分ぐらいのところに、大学が移転してきた関係上、駅前に、大型のショッピング・グルメビルの計画がなされています。

ビル経営者にとっては、これから開けていくこの地は、絶好の場所です。勿論、許可がおりていた、建設着工はOKです。そして、この地域の活性化や経済効果も含めて、必要だと考えています。

しかし、当然、住人は閑散としている環境が壊され、治安も悪くなり、日照権もなくなるので大反対です。

そこで、住民とビル経営者との話し合いがもたれることになりました。

あなたが、住民側またはビル経営者側にたったことを想定して、話し合いをしてください。

A) 住民側

B) ビル経営者側

## 生徒の体験発表

### T (女)

私は、3年生のTといいます。よろしくお願いします。

2年生の前期は、「Yクリニック」という個人医院と、「ハートフルF」というディーケアサービスの施設に実習に行きました。仕事のお手伝いや、患者さんや利用者さんとの、コミュニケーションや、服の着脱や入浴の世話をしました。いろいろな年齢層の人たちとの、コミュニケーションの難しさを、学びました。最初は、何をどうしたらいいのかわからず、また、どのように人と接したらいいのかわからずに、勇気がいりました。また、予想以上に、学校で勉強するより、時間や体力がいりました。

2年生の後期は、「K幼稚園」で実習をさせていただきました。園児との遊びや行事を通じて、いろいろな経験をし、思い出をつくることができました。特に秋の運動会では、一生懸命練習していた園児さんたちが、当日、その成果を発揮できたことに感動しました。そこには、一生懸命、ひとつの目標に向かっていく園児さんたち、そして、それを導く先生方の姿がありました。

そして、今年、「M病院」で実習しています。最初は、ベッドの掃除、シーツの交換、リハビリの見学、配膳の準備、お年寄りの話し相手から始まり、今では、食事の介護、お茶の交換、口腔ケア、腕や手のマッサージ、おむつの交換、入浴介助、そして、患者さんの体温や血圧の測定、寝たきり患者さんのシャンプーなど、さまざまな仕事をさせていただいています。

しかし、意識のはっきりしない人への話しかけ、「死にたい」という老人の話し相手は難しいです。患者さんへの点滴注射も、なかなか血管がみつからず、焦りと共に、ストレスが多い仕事でもあります。そんな中、常に、生死に直面している現場なので、自分の仕事に責任を持ち、真剣誠実に取り組むことの重要性和、報告・連絡・相談をおこたらず、スタッフと協力するチームワークの大切さを学びました。細かい部分まで、神経を緊張させ、慎重に行動しなければならない大変さと、患者さんに、優しい言葉や行動で接する看護師のすばらしさを感じました。

私は、5年前に、ベトナムから日本へやってきました。経済的な理由で、夜間中学校に通いながら働いていました。商品検査の仕事の会社や自転車部品の組み立て工場で働いていたのですが、どちらも解雇されてしまいました。そのときは、日本での生活経験も少なく、私自身、未熟な部分もあり、また、日本語の言葉も不十分だったので、なぜ解雇されたのか理由はよくわかりませんでした。しかし、私の心の中では、大変落ち込んでしまい、日本で生活していくことの不安だけが大きくなっていったことは確かでした。

そんな中、先生の勧めもあり、そして、「自分が、どんな仕事に向いているのか?」「仕事って、どんなことをするのだろうか?」など、体験して学ぼうと思い、デュアルを選択しました。

介護、幼児教育、看護など、さまざまな仕事を体験させていただき、将来の私の進路は、「保育士の仕事もいいなあ」、「介護士の仕事もいいなあ」、「看護師の仕事もいいなあ」、いろいろ思い迷いました。実習先の人たちは、私に真剣に指導してくださいました。それだけに、実習先の人たちの、ご好意がうれしくて、私もそれに、こたえようと考えていました。

しかし、高校2年の夏、母がベトナムにかえらなければならないことになりました。日本で残されたのは、高校に通う私と妹でした。経済的な貯蓄も余裕もなく、生活費も高校へ通う授業料も、自分でアルバイトをして、稼がなければならない。住居も移動しなければならない。保護者もいない。そんな状況になりました。

保育士・介護士・看護師の仕事につくなら、進学しなければならない。しかしお金が無い。でも私は、日本で生活していきたい。そんな中で、いろいろ考え、結局選んだ道は、奨学金

制度がある大学に進学することでした。ベトナム語・日本語・英語の3ヶ国語ができる語学力を生かして、大学で情報技術を身につけ、国際社会、国際化ビジネスで活躍する進路をえらびました。そして、T大学、経営情報学部に通学として合格できました。

私の進む進路先は、デュアルで経験した職種とは、結局、違った分野になりましたが、自分自身の進路について、真剣に考えることができました。そして、実習で経験した、幅広い人たちとのコミュニケーションの中で、少しずつ社会になれることができ、私に足りないものが見えたり、社会で必要とされる事柄がわかってきました。そして、なによりも、日本の社会でやっていける自信ができました。ほんとうにありがとうございました。

## TM (男)

僕は、2年生のTMです。よろしくお願いします。

僕は子どもが大好きなので、保育を希望し、前期は「K幼稚園」で実習させていただきました。陸上部に入っていたので、体力には自信はありました。園児さんたちと走り回るときは楽しかったです。しかし、多くの園児たちを同時に相手する難しさ、泣いていたりけんかをしている園児さんの相手をする難しさも感じるようになりました。また、保育の仕事は、子どもたちとふれあうことだけでなく、保育士の先生方との情報交換や連絡で、コミュニケーションが必要だということがわかりました。特に「園では男性が少なく、園長や副園長以外はほとんど女性の方ということで、居場所がない」のも嫌でした。

そして、後期は、ご年配の方と接することも体験したいと考え、介護福祉を希望し、現在「老人サポートセンター」で実習させていただいています。利用者さんは、子供たちとは違い、動きや活気が少なく、こちらからアプローチしていかなければなりません。しかし、どんな話題から話しかけていけばいいのかわからず、どう行動したらいいのかわからず、職員のかたに尋ねようと思っても、忙しそうにしているなかなか声がかけられず、ボーとたっているときが続きました。しかし、職員の働いている姿をみて、同じように接していくようにしました。今では、慣れてきたのか自然に利用者さんと話ができるようになりました。

実は、僕は、家庭の事情で、小学校3年生のときに守口市から東大阪市に引っ越してきました。いつも近所で遊んでいた友人とも離れ、新しい土地にもなじめず、小さいのではっきりとわからないですが、ストレスがあったのか、徐々に小学校でも、授業中騒いだり、走り回ったりしました、小学校4年生のときはひどく、僕のクラスだけが、グループごとに校長室で給食をとったことをおぼえています。また僕の友人とケンカをしたりトラブルを起こし、母にも迷惑や心配をかけました。

中学校に入り、心機一転、頑張ろうと思っていたのに、2学期になり、家庭の事情で姉と離れ離れになるというショックな出来事や、急性腸炎で1ヶ月ほど学校を休んだことがありました。これがきっかけで休み癖がついたのか、がんばろうという気持ちがありながら、「まあいいか」「今日もなんかだるいな」と思い、ついつい学校を休むようになりました。

また母が入院したこともあり、気持ちも生活もだらけた日々を送っていました。だんだん勉強もわからないようになり、学校に何の魅力も感じず、学校から気持ちがはなれ、結局中学3年間で、学校は半分ぐらいしか行きませんでした。自分がいやで情けなくなり、気持ちが落ち込んで、どうすることもできない状況でした。何か苦しくてだけでも何もできなくて、何度か泣いたこともありました。

きっと、僕のことを「怠けている」とか「さぼっている」と思っている中学校の先生や友人は多いでしょう。後から聞いた話ですが、職員室でもサボりの話題の一生徒だったそうです。そんな僕を、中学校のクラブの顧問の先生は、熱心に声をかけてくれ励ましてくれました。それだけはうれしくて今でも感謝しています。

僕の将来の夢は、まだはっきり決まっていませんが、人を相手にし、相手の気持ちに入り込み支えることのできる仕事に尽きたいと考えるようになりました。中学校のとき、頭でわ

かっけていてもできなかったことに、後悔もあります。

だからこそ高校ではがんばろうと思い、今の高校生活を過ごしています。高校に入っても、母が入院や手術をしたこともありましたが、自分では、自分の小学校時代や中学校時代のときに味わった思いを2度としたくないと思っています。

このデュアル実習は、自分の世界も広がり、自分のいいところと未熟なところを再確認できたような気がします。自分の苦手なところを克服し、技術を身につけ、成長することができました。また、実習で外に出ることは、今までの自分の評価抜きに、新たに評価してくれる意味で、心機一転頑張ることが出来ます。そして、学校生活だけでなく、日常生活や人生にも活気がでたように思います。本当にデュアルを選んでよかった。と思っています。

企業施設の方々、デュアルシステム専門コースの先生方、本当にありがとうございました。

## KM (男)

2年生のMKです。よろしくお願ひします。

僕は、自分自身将来の進路も含めて、製造関係に進みたいと思っていました。高校生活にデュアルを経験し、社会の厳しさや企業の仕組みを学び、自分を少しでもきたえ、自分自身に自信を持つことができたらと思って、デュアルを選択しました。

前期は、株式会社Mで実習させてもらいました。染色の調合や自分でデザインしたものでハンカチを作ったりしました。社会慣れをしていない私にとって、慣れない場所で一日作業するのは苦痛でした。デュアル実習の日は緊張の連続で、胃が痛くなったり、気分が悪くなるほどでした。そのため何回か実習を欠席しました。しかし、実習になじめなかった私を、株式会社Mの職場の人が、気をつかってくれて、話しかけてくれたり、食べ物をくれたりしていただいたことがうれしかったです。また、実習の最後日に、不十分ながら何とか自分でデザインしてハンカチをつくったことが、とてもうれしかったです。ありがとうございました。

後期に、実習先を変更するというので、やはり僕は、無口でコミュニケーションも苦手なほうなので、製造分野を希望しました。さまざまな製造分野を経験し、製造の楽しさややりがいを感じることもできたらと考えました。そして、色々な紙の容器を製造販売している株式会社Sで、実習させてもらうことになりました。僕の作業は、リサイクルできる弁当箱を大きな箱につめて、ラベルをはって出荷する仕事です。

実習日初日、「M君、M君とみんなから名前を呼ばれるように、そして、これしてと仕事を頼まれるようにしっかり頑張っけてほしい」といわれました。そのことが、僕にとって「がんばろう」と思うと同時に、プレッシャーがかかってしまいました。職場では緊張している私を親切に教えてくれて、話しながら仕事をするときには楽しく感じていました。しかし、実習日の前夜や当日の朝になると、気分が重くなり、体調も悪くなり欠席が続きました。

何回も何回も先生と話をし、家庭訪問もありました。頭でわかり気持ちがあっても、体が言うことがきかない状況でした。自分でもヤバイと感じるほど、心と体がバラバラ状態でした。

結局12月になって、僕のためにも、株式会社Sでの実習は一旦打ち切ることになりました。「僕は製造分野には向いていないかも」「販売分野のほうがおもしろそうかな?」「また、学校の先生が何とかしてくれるだろう」と思っていました。しかし、先生に「自分で考えろ!」と冷たくそして厳しく言われました。そのときふと、なんとなく自分の甘さに気づき、「僕はどうなる?」「デュアル実習の単位はどうなる?」という危機感を感じました。

先生と話をする中で、「残りの実習先は、自分で開拓する」ということになり、2学期の期末考査後から冬休み、そして、1月になってからも、近所の販売のお店に飛び込みでお願いにまわりました。

ガソリンスタンド、スーパー、駄菓子屋・・・など約10件訪問しました。言葉がかんで

しまつて、うまく話せなかったこともあつてか、ほとんどのお店で、変な顔をされいきなり断られました。最初は緊張で、頭が真っ白で心臓が破裂しそうでしたが、回数を重ねるたびに開き直りとなぜか度胸がついてきました。

そして、ついに「100円ショップ・O」で実習受け入れのOKをいただきました。まさしく暗闇の中から光が差し込んだ感じでした。そのときのうれしさと感動は忘れられません。

「100円ショップ・O」での実習でも、やはり最初は緊張の連続でした。倉庫から商品を運び並べるといふ単純作業で、最初は商品しか目に入らなかったけれど、だんだんと周りの動きが視野に入り、お客様に対して、自然と大きな声で「いらっしゃいませ」と言うようにもなりました。たとえ小さな仕事でも、僕に与えて任せていただいたことがうれしかったです。そして、「仕事をしていて楽しい」と感じるようになりました。

この1年間のデュアル実習を通して、以前より文章を少しうまく書けたり、人と話したりするのも慣れてきました。人前に立って話をする度胸もつきました。また、教えてもらった事を自分からやってみる大切さや、自分の中で目標を見つける必要性を感じるようになりました。自分の適性や高校卒業後の進路や人生についても、考える機会ができました。勇気・忍耐・積極性・自主性・行動力など、たくさんの方の事を教えられ学びました。社会人になる自信も出てきました。

僕の今年のデュアル実習は、どちらかといったら、苦痛と悩みが多かった1年間です。しかし、得たものを大切に、また無駄にならないようにしたいと思います。そのためにも、来年度3年生になってもデュアルを選択し、がんばっていきたいと考えています。実習先の方々や先生方には大変ご迷惑をおかけしました。ありがとうございました。

## 問い合わせ・連絡先

デュアルシステム専門コース設置校

大阪府立 布施北高等学校

教頭 中嶋 義博

住所 〒577-0024 東大阪市荒本西 1-2-72

TEL 06-6787-2666 (代表)

06-6787-2667 (職員室直通)

HP <http://www.osaka-c.ed.jp/fusekita/>

Mail [yo-nakajima@fusekita.osaka-c.ed.jp](mailto:yo-nakajima@fusekita.osaka-c.ed.jp)